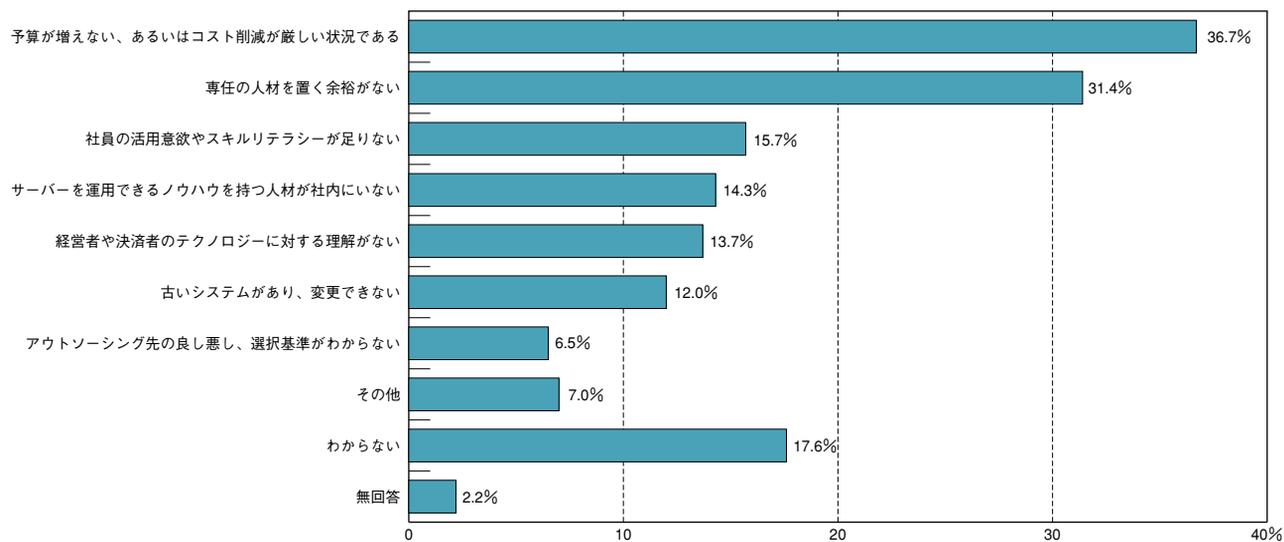


## 運用の障害・課題

### 社内情報化最大の問題はコスト

資料3-6-2 社内情報化の障害・課題 N=1,798



©Access Media/impress,2003

資料3-6-3 従業員規模別 社内情報化の障害・課題 N=1,798

	9人以下 N=338	10-49人 N=371	50-99人 N=166	100-499人 N=305	500-999人 N=122	1,000-4,999人 N=189	5,000-9,999人 N=61	10,000人以上 N=92	わからない N=154
専任の人材を置く余裕がない	40.8%	41.8%	42.2%	34.4%	18.0%	13.8%	13.1%	17.4%	15.6%
サーバーを運用できるノウハウを持つ人材が社内にはいない	17.8%	18.1%	14.5%	15.4%	10.7%	11.1%	6.6%	7.6%	9.1%
予算が増えない、あるいはコスト削減が厳しい状況である	36.7%	33.4%	39.8%	46.2%	40.2%	40.7%	41.0%	32.6%	14.9%
アウトソーシング先の良し悪し、選択基準がわからない	7.7%	5.7%	6.0%	5.9%	5.7%	6.3%	9.8%	7.6%	5.8%
社員の活用意欲やスキルリテラシーが足りない	5.6%	17.5%	28.3%	19.0%	16.4%	17.5%	16.4%	16.3%	10.4%
経営者や決済者のテクノロジーに対する理解がない	4.7%	15.9%	18.7%	19.7%	15.6%	13.8%	18.0%	13.0%	8.4%
古いシステムがあり、変更できない	5.3%	7.3%	11.4%	17.4%	18.0%	14.3%	21.3%	23.9%	9.7%
その他	9.5%	7.5%	4.8%	3.0%	9.0%	8.5%	6.6%	5.4%	8.4%
わからない	13.9%	11.6%	10.2%	13.4%	23.0%	22.8%	24.6%	27.2%	37.7%
無回答	1.8%	2.7%	0.6%	1.6%	1.6%	1.1%	1.6%	1.1%	7.8%

©Access Media/impress,2003

社内情報化の障害・課題では、「予算が増えない、あるいはコスト削減が厳しい状況である」が36.7%で最も高い。続く2位は「専任の人材を置く余裕がない」で、31.4%である。従業員規模別に見ると、「専任の人材を置く余裕がない」は9人以下の層では40.8%に達しているが、大企業では10%台にとどまっている。また、「予算が増えない、あるいはコスト削減が厳しい状況である」は従業員規模によらず高率を占める。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)